大分地方気象台から国東市の皆さまへ

左から大分地方気象台 中内彩那さん、中村政文さん、魚岡勇佑さん

気象庁ホームページ（キキクル）

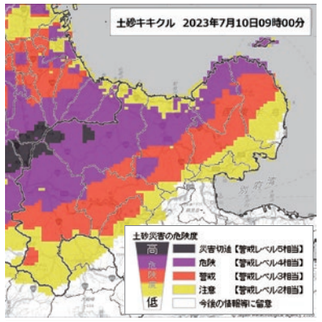
大雨の時は「キキクル」の活用を

大雨による主な災害として「土砂災害」、「浸水害」、「洪水災害」があります。

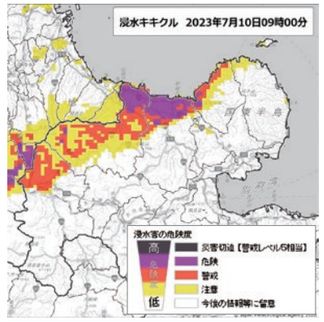
キキクルは、大雨による災害の危険度を5段階で色分けして地図上にリアルタイムで表示するもので、災害から自分自身や大切な人の命を守ることができる情報です。気象庁ホームページでご確認ください。

令和5年7月10日の大雨では「土砂キキクル」で日田市や中津市に黒色が出現しました（下の図）。危険度は高い方から黒色、紫色、赤色、黄色、白色の5色です。黒色は災害がすでに起こっているか切迫している状況です。黒色の出現を待つのではなく、紫色までには危険な場所にいる人は安全な場所に避難してください。

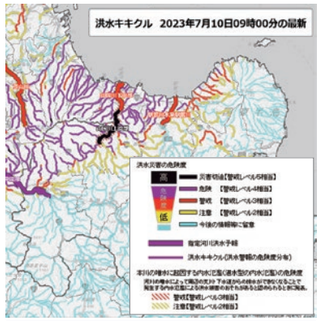
大雨になった時には、このキキクルを使って、どのような危険が迫っているのかを確認してください。このキキクルを活用して、避難所などに避難する必要があるのか、自宅に留まり身の安全を確保するのかの判断材料としても使ってください。



土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル

自分で積極的に情報収集を

普段から、身の回りの危険な場所や、いざとなった時の避難場所はハザードマップで確認してください。実際に歩き、目で見て確認することも大切です。自分の周りにどのような危険があるのかを知っておくことで、ご活用いただく防災気象情報が変わってきます。

気象台では、大雨となる前から危険度の高まりに応じて段階的に情報を発表します。天気予報の解説で「大気の状態が不安定」、「暖かく湿った空気」、「激しい雨が降る」といったキーワードを見聞きしたら積極的に防災気象情報を入手し、今回説明したキキクルなどを活用して身を守る行動につなげてください。

国東市公式LINEから防災情報を確認できます！

防災関連の情報を集約して掲載しています。いざという時のために、日頃からの防災対策にもご活用ください！

❶ 基本メニューから「防災」をタップ

❷ 確認したい情報をタップ

公式LINEの登録はコチラ

※公式LINEの詳細は市報5月号をご覧ください。

防災特集

国東市総合防災ハザードマップを活用しましょう！

災害から身を守り、被害を最小限に食い止めるには、日頃の備えがとても大切です。

このハザードマップには、防災に関する情報をはじめ、避難所の位置や浸水被害・土砂災害の発生する危険のある箇所を地図上に示しています。

災害に備えて必要となる情報は何か、被害を回避するためにはどのように行動すべきか、家庭や地域の防災対策に役立ててください。

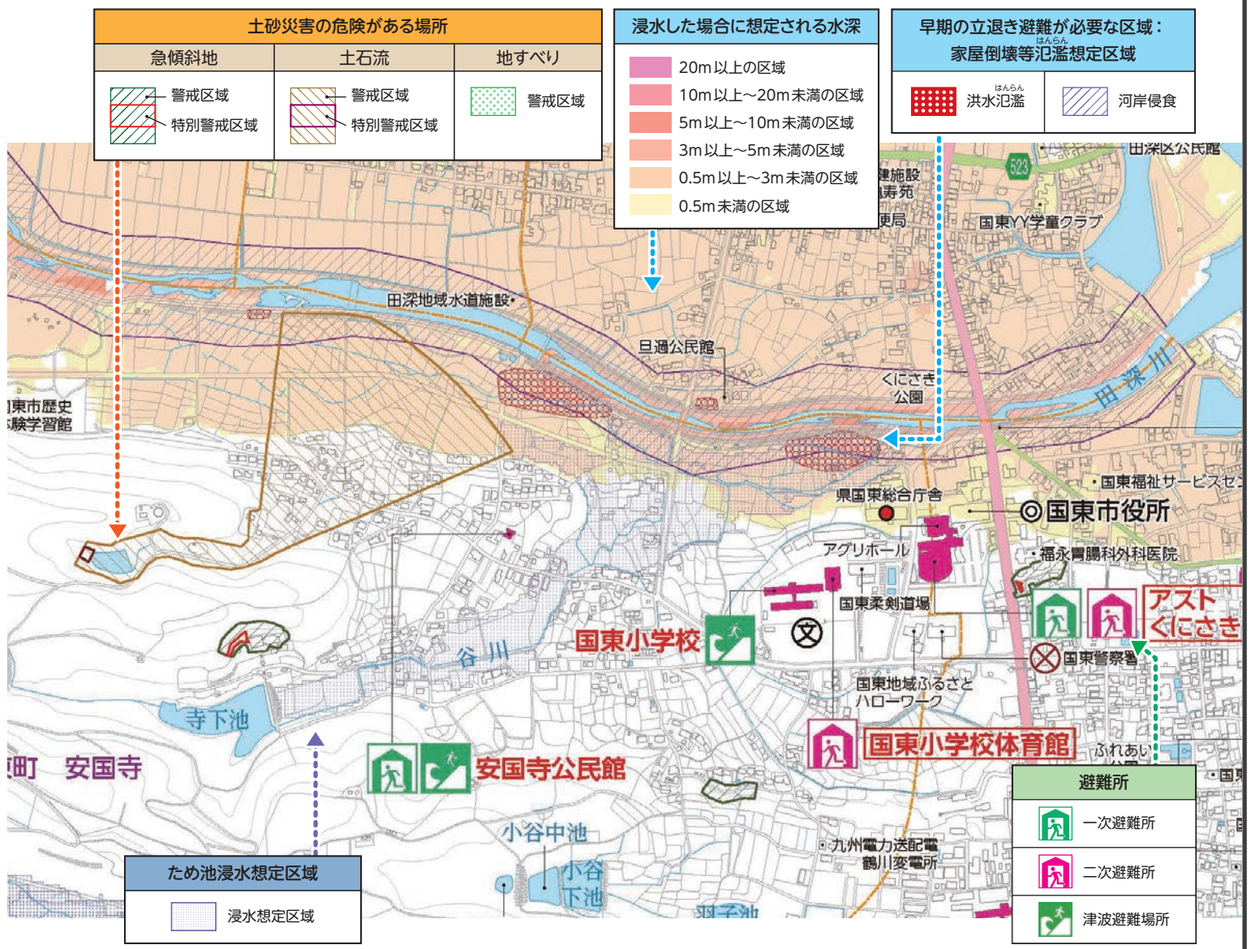
問 危機管理室　☎72-5160

冊子版はコチラ　WEB版はコチラ

ハザードマップの使い方・見方

1 自宅の位置を確認しましょう

2 自宅付近の避難所を確認しましょう

3 災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう

4 実際に避難経路を歩き安全を確認しましょう